

# 成長発達論

## 第九回

# 前回の復習

- ・ エリクソンの発達課題：世代性(生殖性)対停滞性
- ・ Jung.C.Gによる発達段階説  
→ 中年期は人生の正午
- ・ 中年期平穏説から中年期危機説へ

# 老年期

- ・ 高齢者、老人、お年寄り、おじいさん(おばあさん)
- ・ 65歳以上の方々
  - 前期高齢者：65～74歳
  - 後期高齢者：75歳以上

65歳以上の高齢者数は3617万人。

総人口に占める割合は28.7%。

(2020年総務省調べ)

# 老年期の発達課題

- ・ 統合VS絶望

- ・ 統合

肯定的にも否定的にも、自分自身の人生を振り返った際に、「良い人生だった…」と確信をもって受け入れられる力。

- ・ 絶望

「こんなはずじゃなかった」、「人生をやり直したい」、「死」を受け入れる力の乏しさや、様々な衰えに対しての恐怖などを抱くこと。この「絶望」の力が強すぎると、自ら命を絶つ（自殺）ことになってしまいます。

# サクセスフル・エイジング

- ・ 社会関係モデル

- 活動モデル：今までの活動を継続させよう。

- 離脱モデル：権力移行のため、社会の要請に応じて離脱する。

- ・ 医学モデル

- ①疾病に罹患していない、リスク要因を持たない、②機能に障害がない、社会参加している。

- ・ 成長・発達モデル

- 自己受容、人生の意味、環境制御、人間的成長、自律性、肯定的人間関係の6要素。

- 補償を伴う選択的最適化。

# 補償を伴う選択的最適化

- ・ その時の自分にできることを模索し(選択的)、自分に「合」った方法(最適化)で行う(補償)。

例えば・・・

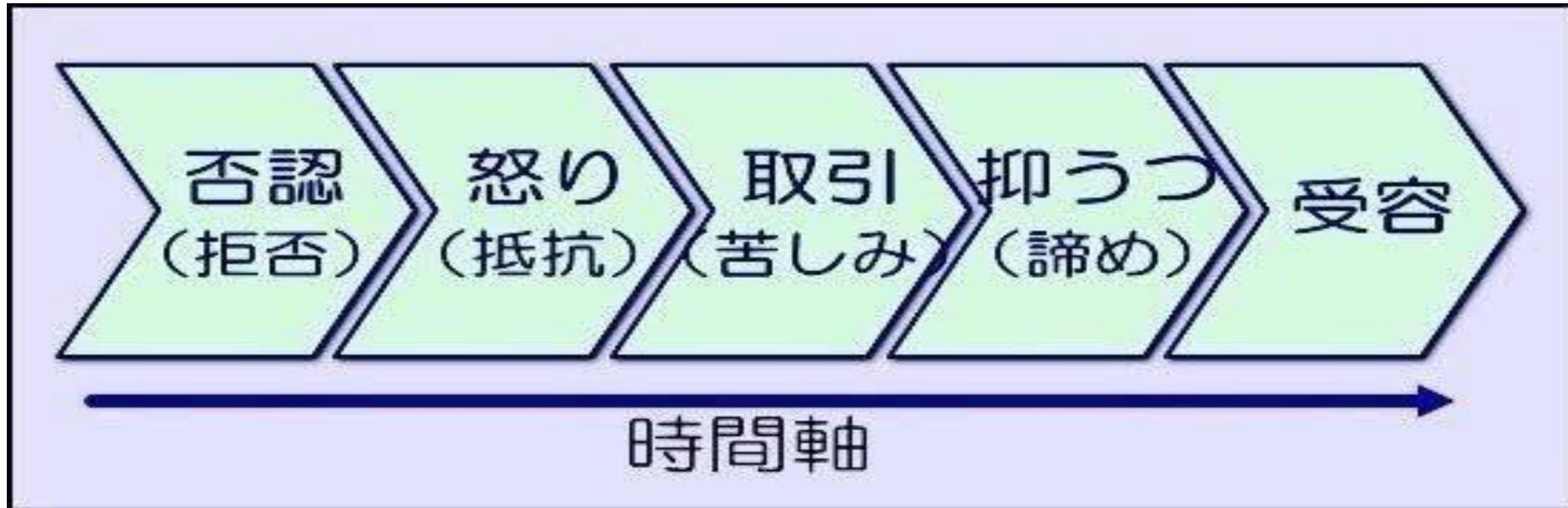
今まで教師をしていたが、定年引退した老人。足腰は悪いが知識や会話等に問題はない。まだまだ人にものを教えたいという気持ちがある。

何をしたいか？

何ができるか？

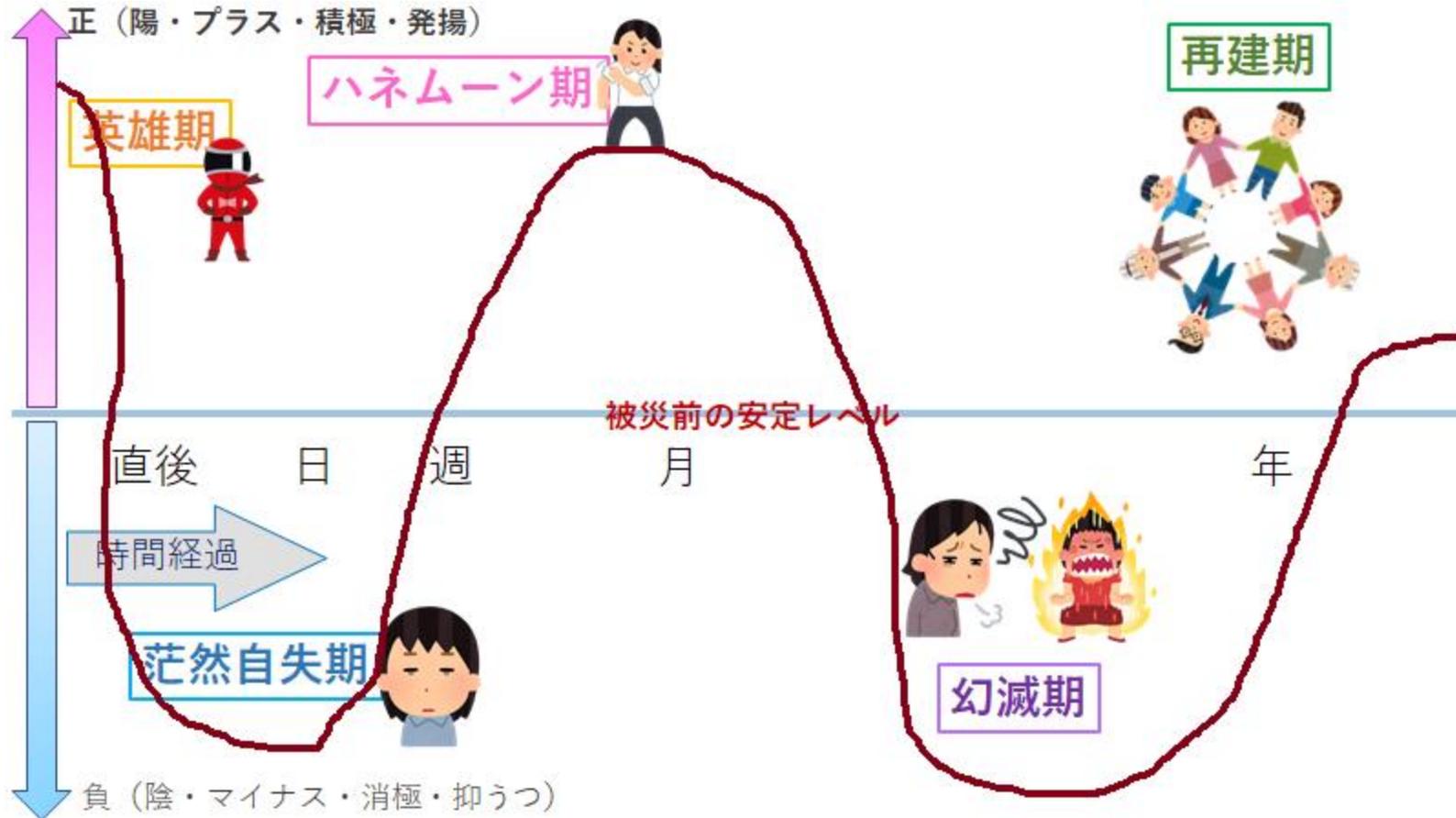
どのようにしたらできるか？

# 死の受容モデル(Ross.K.E)



- ・ 「死」以外にもショッキングな出来事、耐えがたい出来事に対してはこのような心的過程をたどる場合がある。

# 災害時の心的プロセス



引用：カウンセリンググループClover

# 加齢に伴う発達

